

# ふくしのまち福岡 138

2026年・冬号

NO.

138

西区版



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会  
西区社協事務所(西区社会福祉協議会)  
福岡市西区内浜1-7-1 北山興産ビル1階  
TEL: 092-895-3110 FAX: 092-895-3109  
Eメール: nishiku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
ここと

ちょっと  
ひとやすみ

## おしゃべりルーム

周船寺校区

周船寺中町内にある「にしてつストア周船寺店」横に、地域の人が気軽に立ち寄れる「おしゃべりルーム」が誕生しました。以前クリーニング店が入っていた空きスペースを活用したもので、「誰もが集える場所を作りたい」という地域の皆さんのが想いが形になったものです。

「おしゃべりルーム」は月1回、最終金曜日の11時～15時に開所しており、買い物や散歩の途中に誰もが立ち寄ってひと休みし、話ができる場所になっています。

部屋にある椅子や机は参加者が持ち寄って整えたもので、地域の方々の想いやりがふれる空間になっています。利用者からは「一人で家にいるより誰かと過ごす方が良い」という声も寄せられ、この場所は少しずつ地域の“集いの場”として定着しつつあります。



▲ホッと一息、楽しいわ!

## 顔見知りが増え、感謝されます!

今宿校区



▲これならできるわ!

今宿校区社協には、福祉協力員制度が設けられており、現在26名が活動しています。

福祉協力員は、民生委員や町内会長の協力を得ながら高齢者や障がい者、児童などの見守りを行なう住民の有志の方々です。

令和7年9月13日、福祉協力員会議が開催され、「助け合いカードゲーム」を通じて生活支援を考える研修が行なわれました。

助ける側と助けられる側を体験することで、向こう三軒両隣りのつながりや、近所付き合いの大切さを改めて実感する機会になりました。

参加者からは、「活動の中で顔見知りが増え感謝される」「対象者が亡くなられたり施設に入所された時は寂しさを感じる」「校区内での存在、知名度を上げて欲しい」といった声が寄せられました。

## 個別避難計画作成ワークショップを実施



▲町内毎に情報共有

福岡市社協は、令和7年度福岡市から「個別避難計画」作成支援の委託を受けています。

その一環として9月9日、10月31日の2回にわたり、姪北校区において「個別避難計画」作成ワークショップの支援を行ないました。

自治会長、民生委員・児童委員や校区社協役員等の参加があり、各町内にて避難行動要支援者をマップに落とし込み、共有しました。

参加者からは、「要支援者の状況を町内で共有できてよかったです」「今後町内の活動として取り組みたい」という声が聞かれました。

今後も姪北校区では、避難行動要支援者名簿登載者以外に支援が必要な人の把握や共有、支援方法の協議を行なう予定です。

## 地域をつなぐオレンジ色の輪!

らんとも  
RUN伴 2025

令和7年11月1日、認知症への理解を深める啓発イベント「RUN伴2025」を開催しました。

メインのタスキリレーでは、施設職員延べ18名が地下鉄橋本駅ロータリーを出発、地域の施設や医療機関を巡りながら、さいとぴあ(九都連祭会場)まで、オレンジ色のタスキをつないで走りました。

木の葉モール橋本では、啓発クイズや寄せ書きコーナーに約200名が来場。

さらに、さいとぴあ会場では、認知症予防レクリエーション体験やゲーム、福祉用具展示を行ない、親子連れを中心に約400名が来場し、世代を超えて認知症について考えるきっかけとなりました。

ご参加・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



▲広げよう、認知症支援の輪

## 賛助会員を募集しています!

皆さまからいただいた賛助会費は、地域福祉活動の担い手となる区・校区社会福祉協議会の財源として、福祉事業に活用させていただきます。

### ◆入会方法(会費の納入について)

お住まいの校区の公民館(校区社協)又は西区社協の窓口で受付をしています。

現金又は所定の振込用紙でお振込ください(振込手数料は不要です)。

◆年会費 個人1口 500円 法人・団体 1口 10,000円

※振込用紙の郵送も可能です。



この広報紙は共同募金配分金及び賛助会費を主な財源として作成しております。